

一般社団法人大規模修繕積算協会

2022年度 秋の技術セミナー 意見交換会（ワークショップ）集計表

①大規模修繕工事における積算歩掛要覧及び 実勢検証について	②大規模修繕工事における積算歩掛要覧への 新材料、新技術の盛り込み方	③今後取り扱って欲しいテーマや活動について
形状によっても異なる。形状別にできないか。	一般仕様、長期仕様など分けて、高層マンション用の仕様	地域毎の施工文化の違い等を学ぶ機会を設ける。(ex.)寒冷地、関東、関西の違いなど。
現場規模、状況で変わる。マンション、オフィスビル、物件の基準を示したほうが良い。	外壁落下の項目 部分補修と全体補修の考え方を分けて考えられる。	職人さんも混ぜた全体での協力で、それぞれの立場を超えた、統一した物を作成していく。
塗装物件とタイル物件で費用が変わる。	各社持っている材料、工法の情報を提供しやすく。	研修会（工場見学）年によって研修を分ける。
タイルと塗装面で養生（タイル）養生（塗）は分けたほうが良い。	会員が新規情報を受信できるシステム（メルマガ）	管理組合も参加できる。各社で自由に使えるブース。
床撤去の際にウレタンがあって困った。旧工事の仕様が分かると楽。	新技術等を紹介してもらうシステム	協会、展示会等を使って、会員各社で展示できないか？会の紹介もできる。
物価が分かる資料にならないか。	労働力不足問題（海外からも来なくなる）長期周期必要	軍艦島、実験なども行っている。
スロープなど特殊工事の費用	修繕サイクル、積立金、長期周期材料必要。保証だけでなく、	アスベストについて 法律の理解と、施工店の場合、工事費の見積もり基準について
金物、サッシの単価	期待耐用年数に耐える品質を工事で達成必要＝ダイピング防止	大規模修繕工事時における管理組合とのトラブルと解決方法について、いろいろな事例があると思うので共有したい。その
客から単価根拠を求められら際に役立つが、歩掛Bや係数との根拠は？（質問）	今の業界の流れで、耐用年数と保証年数がイコールになっている。	金物工事の知識について
積算＝数量重要 数量の出し方（同じ1㎡でも形状は色々）－”－明確に。お客様に説明できる様、積算協会でルールを取りまとめる。		
メーカー設計価格の見方。材料費、工賃、運賃、経費などがあり、積算で分けた場合、金額の差の考え方。		